

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書



### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

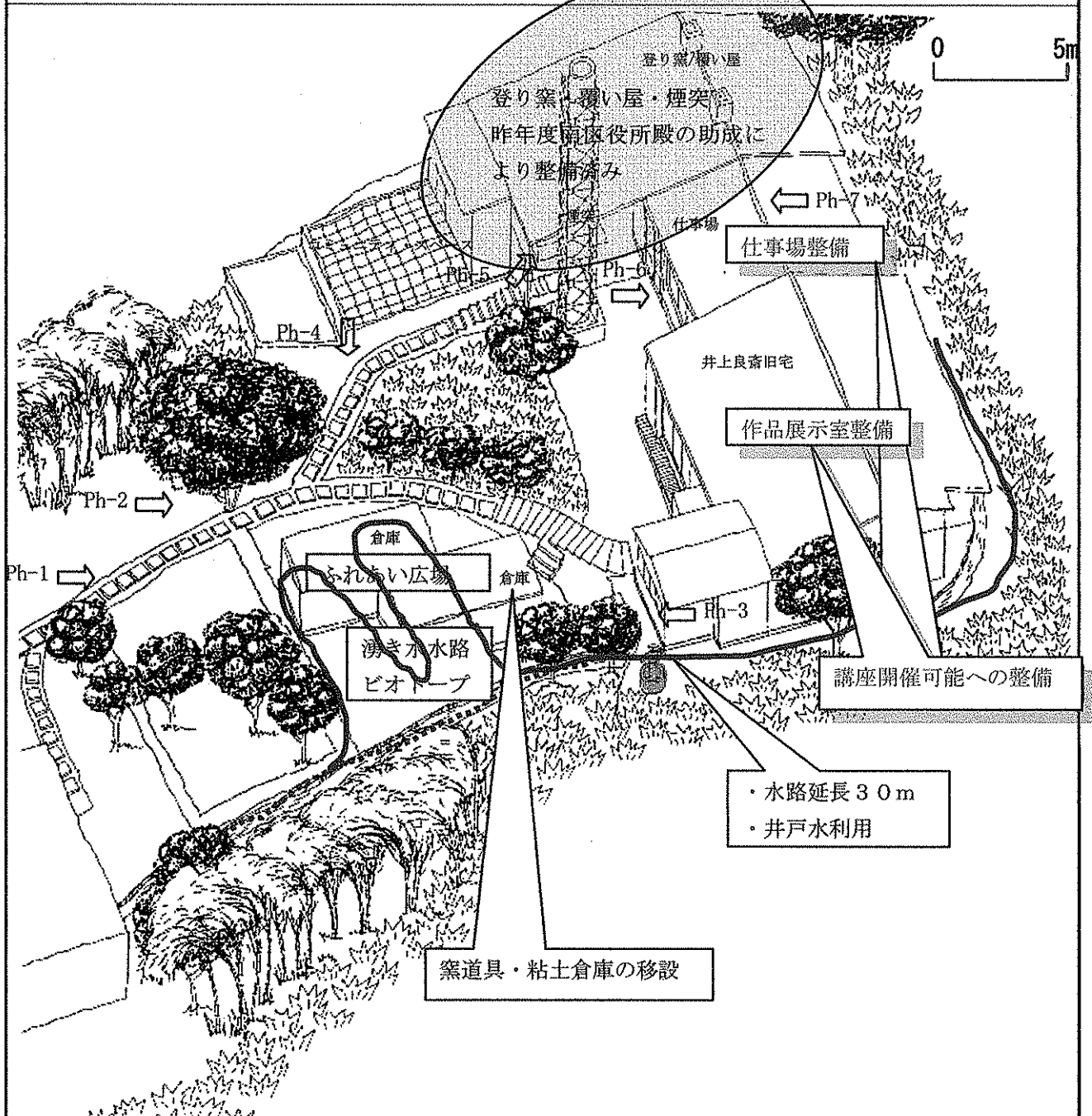
### 1 整備提案の概要について

<p>整備提案名 (25字以内)</p>	<p>のぼりがまふぞくしせつ 登り窯付属施設及び周辺環境の整備</p>
<p>提案グループ名 (25字以内)</p>	<p>のぼりがま ながた しぜん まもるかい 登り窯と永田の自然を守る会</p>
<p>整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)</p>	<p>南区 永田東1 町・丁目</p>
<p>整備場所の位置 (整備場所周辺の地図をはり込んでください)</p>	

<p><b>整備提案の概要</b>  (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>	<p>南区に残る横浜で唯一生産に使用された登り窯と、窯場に残る地域の原風景としての谷戸の自然を保全する活動に於いて、地域住民が参加し活用していく活動に資する整備を行うものです。平成17年度に横浜市南区役所殿の助成を頂き、登り窯・覆い屋・煙突の保存修理を行うことができました。今回は、これらの周囲の、窯場全体の整備を行い、保存の意義をより明らかにできる展示設備と、地域に於ける活用の広がりを目指した整備を実施する計画を策定しました。具体的には、登り窯により焼成された井上良斎作品の展示設備と陶芸作業場、及び子供たちからお年寄りまで多方面の利用が可能なるふれあい広場の整備を行い、地域コミュニティ意識の醸成と地域活動の活性化に寄与することを目指す為の整備を行います。</p>
<p><b>整備提案の動機や背景</b>  (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 南区役所殿の助成を頂いて修理を行った産業遺産としての登り窯により焼成された陶芸作品を現地で展示することにより、窯場の意義、地域における位置付けを明確にし、且つ地域の歴史の一コマを実感していただき、地域コミュニティ意識の醸成に資することができると思います。</li> <li>(2) 開発が進んだ当地域に於いては、往時の自然が殆ど失われてしまっています。特に人が立ち入れる自然は極めて少ないのが実情です。このような状況下で、子供たちの為に地域の往時の自然を実感できる窯場を開放してほしいという要望が多く寄せられています。</li> <li>(3) 地域の学校からは、校外学習の場として活用してもらいたいとの要望があり、有意義に、且つ安全に利用していただく為の整備が必要であると考えています。</li> <li>(4) 同時に、地域の歴史・文化・自然資産としての窯場を、住民の方々に有効に活用していただく為に、自然環境の中での地域の文化活動の場として位置付けた整備がふさわしいと考えています。</li> </ol>
<p><b>整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 現在、当会の活動は会員以外の地域住民に開放しています。整備後は、ホームページの充実等も行い、更に広範囲の市民の参加が得られる様に活動を行っていきます。</li> <li>(2) 地域の小学校の校外学習の一環として、自然観察・陶芸活動を受け入れています。今後は更に密度の濃い、地域と学校の連携活動の場として機能していくことが可能となると考えています。更に、中学校・高校とのつながりを持てれば、若い人の地域理解への大きな助けになると考えています。</li> <li>(3) 窯場としての性格上、陶芸実践活動は最も有効な活動手段と位置付けています。登り窯修理を期に栃木県益子町との交流が始まりました。また定期発表会開催等、更に活発な活動を行い、地域の活性化に結び付けたいと思います。</li> <li>(4) 窯場の中心にある倉庫を移設し周辺をふれあい広場として整備することにより、地域の多くのグループに窯場をいろいろな方法で活用してもらい、活発な地域活動の場として利用してもらえることが可能となると考えています。</li> </ol>

## 2 整備提案の具体的な内容について

整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください



### ①湧き水水路の拡張と、ふれあい広場の整備

谷戸の湧き水を利用した水路の水量増加・延長拡張を行い、ホテル復活活動をより実現性の高いものにしたい。更にビオトープ設置を考えたい。

### ②窯場の文化活動施設の整備

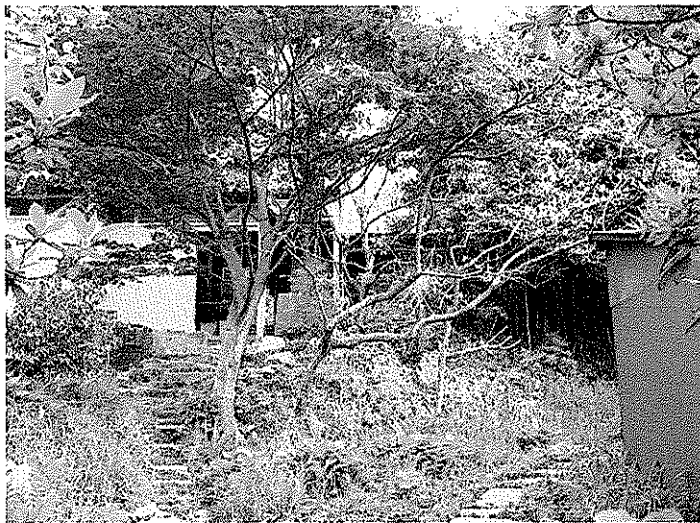
陶芸作業場、井上良斎作品の展示室、及び講座開催場所の整備を行いたい。

総工事費(概算) 約 500万円

# 窯場の全景・自然



Ph-1 全景

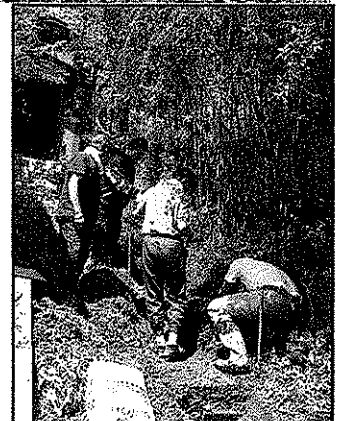
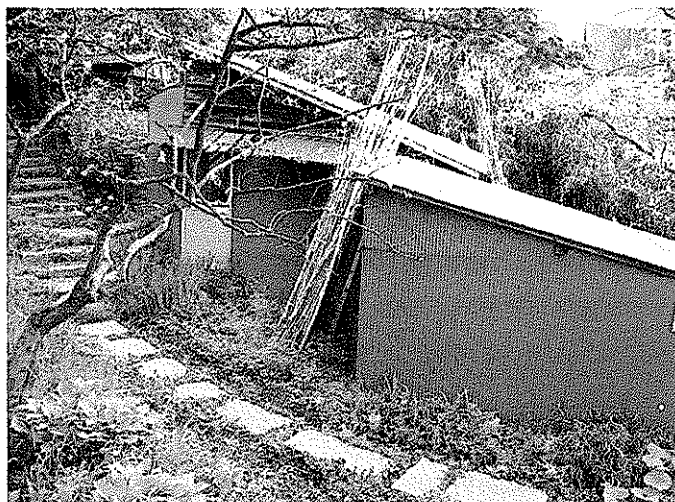


Ph-2 登り窯・作業場部全景



Ph-3 湧き水水路

Ph-4 倉庫（移設予定）



横浜市環境科学研究所殿  
指導による水路整備作業

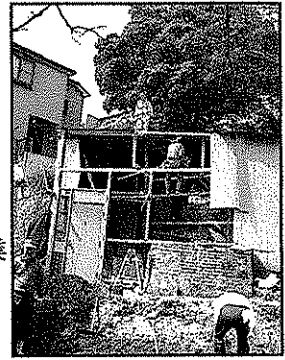


# 登り窯・陶芸活動

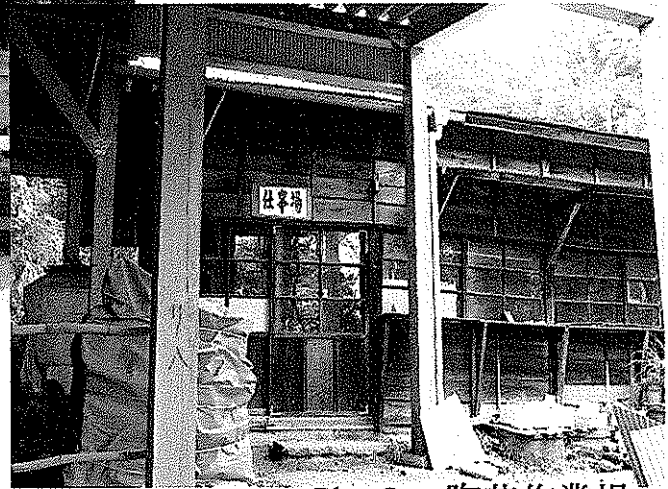
Ph-5 登り窯 (産業遺産)



会員による登り窯  
旧覆い屋の修理作業



焼成室内部



Ph-6 陶芸作業場



会員によるコミュニティ・  
スペースの整備作業



Ph-7 陶芸実践活動

### 3 提案の創意工夫について

<p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>	<p>整備場所の、歴史資源・文化資源・自然資源のすべてを保全・活用して、地域の文化活動の場として、更にいこいの場として、世代を超えた利用が可能なような整備を目指しています。計画策定に於いては、全て地域の歴史を踏まえた、地域の環境・自然を復活する、また地域の生きものを対象とした整備であることを原則としています。即ち、新しいものを持ち込んで整備し利用するのではなく、永田という地域の歴史・地理・生きもの・自然にこだわった活動のための整備を計画するものです。</p>
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの 注4)</p>	<p>守る会会員の地域の大工さん・左官屋さんなどの協力を得て、その指導のもと、役員・会員がボランティアで、今回の提案の作業を可能な範囲実施する計画です。 また、整備や、設備の改造などの検討に際しては、今まで相談に乗ってもらっている建築家の支援・協力を得て実施する予定です。</p>
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの 注5)</p>	<p>当会は、会員より年会費を頂き、窯場の維持管理を行っています。ヒト一協力してくれる人については、更に広く会員に声を掛けると共に、地域の学校の生徒さんに校外学習・地域との協働の一環として参加してもらえないか、アプローチを行なっています。</p>
<p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか？</p>	<p>施設の維持・管理・保守は、守る会中心で、責任を持って実施していきます。</p>

注4)「地域の資源のうち現在すでにあるもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。

注5)「地域の資源のうち現在は不足しているが今後獲得していきたいもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地権者の了承を得たい。
  - ・整備工を手伝ってくれる人を集めたい。
  - ・市や区の協力を得たい。
  - ・専門家の協力を得たい。
  - ・整備した施設の維持管理を行う組織を地域につくりたい。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できる方法を考えたい。
- 「カネ」の例
  - ・地域でバザーを企画するなど、少しでも資金を集める方法を考えたい。

#### 4 計画性について

整備提案を応募することについて、地権者（土地所有者、借地権者）や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください<sup>注6)</sup>

地権者（守る会代表・事務局）は当事者であり、整備場所は提案した守る会が運営しております。また、地元の南区役所殿は、窯場保存に理解を示して下さっており、整備して多くの市民に公開することを希望しております。

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください

6 月	<p style="text-align: center;">専門家の決定 活動助成金の交付申請</p>
7 月	<p style="text-align: center;">整備計画の策定</p>
8 月	<p style="text-align: center;">整備計画の具体案検討</p>

9 月	概算費用の見積
10 月	2次コンテスト応募資料の作成  2次コンテスト応募書類提出
11 月	2次コンテスト プレゼンテーション資料の作成
12 月	2次コンテスト

## 5 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください</p>	<p>今回、整備の提案を行った窯場は、陶芸家井上良斎が大正13年から昭和46年まで作陶活動を行っていた場所です。戦前欧米への陶磁器輸出に実際に使用されていた、横浜唯一の登り窯（産業遺産）が現存し、作陶作業場も残っています。窯場には、地域の往時の谷戸の自然が残り、多くの生きもの（サワガニ、コクワガタ、カブトムシなど）、草木（ニホンタンポポ、セリ、ミツバ、コナラなど）が生き、横浜市名木古木指定樹（柿、タブノキ）も2本あります。</p> <p>この窯場全体を保存し、地域の歴史・自然を実感できる場所として地域で活用していこうと、“登り窯と永田の自然を守る会”を発足させ、会員自らが維持・管理・草刈に参加して6年間活動を行ってきました。昨年度、横浜市南区役所殿の助成を頂き、登り窯・覆い屋・煙突の保存修理を行うことができました。</p> <p>今後、窯場全体を早急に整備して環境を整え、多くの方々に来て頂き利用して頂ける様に努力することが、我々守る会の命題であると考え、応募致しました。</p>
---------------------------------------	---

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。